

環境保全行動
自動車使用管理実施 報告提出書

2025 年 6 月 23 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所 氏 名 (代表者名)	〒 004-0841
	札幌市清田区清田1条3丁目7-55
	株式会社 渡辺塗料商会
	代表取締役 森野 可大

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第 1 3 条第 4 項 環境保全行動
第 2 3 条第 3 項 の規定により、自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報 告 期 間		2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日						
事業の規模	従業員数	10		人	原油換算した	21.9		kl
	使用床面積	80		m ²	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数		10	台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン		N ₂ O	HFC		
		非エネルギー起源CO ₂	PFC		SF ₆	NF ₃		
報告書の担当部署		担当部署名 担当者氏名 電話/FAX 電子メールアドレス						
計画書提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)				<input type="checkbox"/> 第 1 項 <input checked="" type="checkbox"/> 第 3 項		
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)				<input type="checkbox"/> 第 1 項 <input checked="" type="checkbox"/> 第 2 項		
計画期間		2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日						
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり						
備 考								

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の 3 月 31 日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の 3 月 31 日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第 4 条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 2 条第 5 項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 ☐ のある欄には、該当する ☐ 内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

【報告期間】

2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2023年度結果			2024年度結果			2025年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	38	2	45.4	▲ 19	×	41.6	▲ 9	×			
	t	%	t	%		t	%				
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	13.1	2	12.3	6	○	14.8	▲ 13	×			
	t	%	t	%		t	%				
紙使用量の削減	367	2	358	2	○	357	3	○			
	kg	%	kg	%		kg	%				
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	×	自動車保有台数に伴い増加した。
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	×	溶融ペイントの施工量が多くによるガス使用の増加、北広島事象所開設による電気使用量の増加
紙使用量の削減	○	pdfでのファイル保存、裏紙、両面印刷により削減できた。